

## ネットワーク上のIQeyeカメラへ、同時アクセスできる回線数

- 1 同時にアクセスできる数を制限する要因がいくつかある。

### カメラとPC間のネットワーク帯域の最大容量

IQeye501の場合には、フルサイズ画像は約100～150キロバイトであり、これはすなわち、ネットワーク伝送時には1フレームあたり1メガビットとなる。もし、1台のパソコンから最大フレーム数(15fps)で送出しているカメラにアクセスしているとする、その閲覧者は15メガビット/秒を専用していることになる。一般に100Mbpsの転送では、およそ60メガビット/秒でサチュレイトしますので、IQeye501には4箇所からの同時アクセスが可能と言うことになります。

JPEG画像がいかに早くカメラ内部で作りに出せるか。  
IQeye501における最大フレームレートは15fpsである。

つぎの要因はカメラ自体の性能(処理スピードとメモリー容量)。  
ネットワーク伝送帯域に制限が無い場合、10箇所からのアクセスが可能。

もし、そこまで多くのアクセスが同時にあるならば、トータルの伝送容量を割り振ることとなる。

- 2 たとえば、最大フレーム数で最高画質を要求する4 - 6の同時アクセスが見込まれるとするならば、ウェブサーバーを利用することが得策である。ウェブサーバーでは通常はもっと大きな帯域をカバーできる性能を有している。

カメラにおける設定を、もっと小さいフレームサイズの画像にし、フレームレートも下げれば、ウェブサーバーを使用しなくとも、ずっと多くの同時アクセスが可能になる。

ちなみに、VGA画像は1画面でおよそ20～40キロバイト、QVGAでは5～10キロバイトである。

2006 3月